



平成 28 (2016) 年 5 月 24 日
学校法人日本赤十字学園
日本赤十字九州国際看護大学



宗像市

街に、ルネッサンス



独立行政法人都市再生機構九州支社

宗像市日の里地区を舞台とした 日本赤十字九州国際看護大学による実習授業の試行実施について

日本赤十字九州国際看護大学は、平成 27 年 12 月 17 日に発足した宗像市日の里地区地域医療福祉推進協議会に参画しているところです。

今般、別紙のとおり、同地区を舞台として、UR日の里団地にお住まいの方々を含む地域住民と協働した実習授業を試行的に実施することといたしましたので、お知らせします。

お問い合わせは下記へお願いします。

日本赤十字九州国際看護大学
総務課

(電話) 0940-35-7005

宗像市
都市戦略室秘書政策課

(電話) 0940-36-1284

独立行政法人都市再生機構九州支社
住宅経営部 ストック再編事業チーム
総務部 総務チーム

(電話) 092-722-1045

(電話) 092-722-1004

別紙

1 実習授業の内容について

(1) 内容及びねらい

この実習は、誰もが住み慣れた地域で最期まで安心して健康に自分らしく暮らせる地域づくり、つまり、地域包括ケアシステムの構築を目的とした、地域と大学が連携・協働して行う試験的な取り組みです。

まずは、地域住民と学生と一緒に、地域にある様々な資源や地域特性を取材分析し、地域の健康課題を検討するための資料を作成します。そしてこの資料が地域包括ケアシステム構築のための地域活動の参考となることを目指します。学生にとっては地域住民との交流から地域づくりや地区組織活動の重要性について学習し、健康の専門職としての知識や技術を学ぶことのできる貴重な体験学習の場となります。

(2) 日程

実習スケジュール

日程		内容
5月23日	月	資料整理・マップ作成・インタビュー準備(大学内)
5月24日	火	
5月25日	水	
5月26日	木	
5月27日	金	10:00～日の里コミュニティセンターにて 学生が地域の代表者に地域の状況についてインタビュー
5月30日	月	インタビューのまとめ(大学内)
5月31日	火	9:30 日の里コミュニティセンター集合(半日程度) 学生が地域の方々と地区を回りながら写真取材をする
6月1日	水	資源写真地図の作成(大学内)
6月2日	木	
6月3日	金	
6月6日	月	
6月7日	火	10:00～日の里コミュニティセンターにて(2時間程度) 学生が外から見た資源写真地図を発表し、地域の方々と意見交換を行う
6月8日	水	
6月9日	木	実習のまとめ、レポート作成(大学内)
6月10日	金	

(3) 対象学部 日本赤十字九州国際看護大学 ヘルスプロモーション・在宅看護領域

(4) 担当教授 ^{のりこし} 乗越千枝、小林裕美

2 宗像市日の里地区地域医療福祉推進協議会について

宗像市日の里地区地域医療福祉推進協議会は、宗像市日の里地区（日の里中学校区）の関係機関、団体等が連携・協力し、一体となって、少子化・高齢化等の地域における諸課題に対応する取組みを協働して実施することにより、子育て支援、高齢者支援などの地域医療福祉の推進、良好なコミュニティ形成等、地域の活性化に資することを目的として設立されたものです。

平成 27 年 12 月 17 日に発足当初の構成は下表のとおりとし、宗像市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」といいます。）とが共同して事務局運営を担っています。

【会員】	宗像市日の里地区コミュニティ運営協議会 (株)アクロスプランニング（家事代行サービス事業者） 宗像市 独立行政法人都市再生機構 九州支社
【アドバイザー】	一般社団法人宗像医師会 学校法人日本赤十字学園 日本赤十字九州国際看護大学

3 宗像市及びUR都市機構の関わり

宗像市では、昭和 40 年代から開発された九州を代表する大規模住宅地「日の里」における住民の高齢化、住宅の老朽化や空き家の増加等の問題に対応すべく、持続可能な都市構造へと住宅地の再生に取り組んでいくこととしております。また、第 6 期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、地域包括ケアの視点に立ち、『住み慣れた地域で支え合い、いきいきと安心して暮らせるまち』を目指し、コミュニティや NPO を含む市民、医療機関や大学等の関係団体と協働して、高齢者福祉施策のより一層の推進を図ることとしています。

また、UR都市機構では、「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」を目指し、UR賃貸住宅を中心として住み慣れた地域で最期まで住み続けることができる環境（Aging in Place）を実現するため、地方公共団体等と連携してUR賃貸住宅の地域医療福祉拠点化を推進しており、同九州支社では、平成 27 年 12 月 1 日付けで新たに『日の里団地』（福岡県宗像市）を対象として、宗像市とともに地域医療福祉拠点の形成に向けた取組みに着手しました。

宗像市及びUR都市機構は、日本赤十字九州国際看護大学による本取組みを後方支援し、将来的な地域包括ケアシステムの構築に欠かせない地域自治コミュニティの再生を推進します。

(参考) 宗像市日の里地区の区域図



※ 日の里地区は、日の里中学校区の範囲であり、日本住宅公団（現UR都市機構）の土地区画整理事業により昭和 40 年代に開発された 217.7ha の大規模住宅地です。